

# 関 済 協

関西済州道民協会 会報

第2号

1995年7月15日



特別企画 会長団座談会「21世紀へ向けての関済協」



## 会旗の説明

関西濟州道民協會の会旗（写真）は創立總會の席上、濟州道知事より贈呈されたものです。

会旗の円は太陽、統合、和合を表し、三太極は三多、三無、三清（澄んだ水・澄んだ空気・澄んだ人心）を表しています。また四隅は四団体の合心、すなわち統合を意味しています。

図案制作者は濟州大学美術学科教授の文基善氏。同氏は一九三五年に濟州市で生まれ、六〇年ソウル大学校美術大学卒業、六五年濟州道旗図案、八〇年濟州道文化賞受賞、八四年第一三回全国少年体典聖火台制作、八八年ソウルオリンピック寄聖火台制作等々、其界の第一人者です。

- ◇題字「関済協」は康忠男会長の直筆です。
- ◇表紙の写真は奇岩として知られる龍頭岩の景観です。  
龍頭岩については本誌巻末「編集後記」の欄をご参照下さい。

# 一致団結すれば 今まで以上の ことができる

関西濟州道民協会

会長 康 忠男

一九九五年の期待膨らむ新年をお迎えし、皆様と一緒に喜び申し上げなければならぬのですが、昨日（二月十七日）、大変なこと（阪神大震災）がおきまして、この総会及び新年会を延期しようかどうかを迷いました。が、一度決めたことは実行しようではないかとの意見が多く、実施する運びになりました。



「関西協ビルを心の拠り所に」と挨拶する康忠男会長

たが、出席予定者が半減してしまいましたことを深くお詫び申し上げます。と同時に、被害に逢われました方々にも心よりお見舞い申し上げます。ご承知の通り、阪神

大震災は想像を絶する大被害をもたらし、郷土濟州道でも私たちの安否を気遣う見舞いや暖かい激励の言葉が相次ぎました。そして、「今まで濟州道を助けてくれた在日僑胞を、今度は濟州道が助けよう」との声が全道に響きわたり、小学生や中学生の間ではコサリ（わらび）運動を展開して、大人も子供も、全道民が募金活動を展開し、多額の義援金が届けられました。郷土濟州道のこの暖かい気持ちに心から感激しております。ところで、一年前に濟州四団体一つになろうというところで、皆様の献身的なご努力によりまして本会が誕生し、そして、組織のことを何も知らない私が会長という榮に浴しました。が、何も分らない私が、ただ一つできることは、一生懸命やるということでした。その一年を振り返ってみますと、皆様の温かいご指導ご支援をいただきました、夢とロマン

のある組織を創造していくために、歩きながらいろいろなこと考え、いろいろなことを実践してまいりました。まさに私たち執行部は「裸の王様」といつてもいいのではなかったでしょうか。

私たちは、同じ仲間として、同じ民族として、同じ古里を持つ者として、仲良くしていかなければなりません。幸い、この一年、和氣藹々に種々のことを実践し、一致団結すれば、今まで以上のことができると再認識することができました。

その一つが、私たちの拠り所であります会館（関西協ビル）を所有することができたのであります。「小さいながらも我が家」と言われますように、この会館の所有を皆様喜んでくれ、命のつぎ、いや命よりも大切なお金を喜捨していただきました。予想をはるかに越える早い時期にその額は多額に達し、会館は名実とも私たちの会館となりました。皆様の温かいご支援に對しまして改めて感謝申し上げます。

私は健康上の理由もありまして、一年で会長を退く心づもり

でありましたが、「お前を信頼してお金を出したのに、会長を辞めるとはなにごとだ」とお叱りを受けました。そう言われてみますと、私も重い責任を感じざるを得ず、あと一年、会長として一生懸命やる以外にない決断いたしました。皆様のさらなるご指導ご支援を伏してお願ひ申しあげます。

南北に分断されております祖国も一つになれば強い国になります。が、一つになるところは大変なことです。一つになることはいいいことだと分かっている、その前には難問が山積します。が、その難問を乗り越えて一つになれば大きな力になります。私たちの組織が、まさにそれを証明しているといいいいでしょう。

団結は力です。団結して一つになった私たちは、郷土濟州道の発展にさらに貢献していかなくてはなりません。昨年は濟州道開発計画が策定されましたが、濟州道庁とも意見交換しながら、この開発計画に日本にいる濟州道人十二万の力を結集して積極的に協力していきたいと思ひます。

太閤園で開かれた定期総会（一月一八日）



## 第2回総会を開催 併せて新年会と成人式

-----  
阪神大震災に見舞金  
「心の家族」にも金一封

関西済州道民協会は一月十八日午後五時から大阪市都島区の太閤園で第二回定期総会を開催した。総会では、事業報告、会計報告、事業計画案、収支予算案等が原案通り満場一致で承認、可決された。総会終了後、席を移して新年会が行われ、席上、新成人八人の前途を祝福した。また、社会福祉法人「心の家族」に金一封が伝達された。同日は、阪神大震災の翌日とあって、新年会等の延期、中止も検討されたが、来賓として出席した朴鍾沂総領事や李熙健関西興銀会長らが挨拶の中で、目

にした阪神大震災の惨状と援助活動を報告した。こうしたなか、康忠男会長は百万円の救済金を送ることを明らかにした。

### 【第二回定期総会】

金孝晃総務部長の司会のもとに開かれた定期総会は、国民儀礼、国歌斉唱、黙祷のあと康忠男会長が挨拶に立ち、「阪神大震災で延期も考えたが、一度決めたことは実施しようということになった。済州道四団体が一つに大同団結して、抛り所となる会館も取得できた。歩きなが

ら考えてきた一年であったが、皆様と共に今後とも夢とロマンのある組織づくりに一生懸命取り組みたい」と述べた。

このあと、規約の定めによって康忠男会長が議長を務め、議事進行した。冒頭、出席一七二人、委任状二一五人の参加のもと総会が成立することが告げられ、書記に李永哲事務長を指名した。

事業報告では、韓長淑・常任副会長が「災害は予測せずやってくるが、責任者として実施を決断した。地震の被害を受けた



在日同胞唯一の老人ホームとして知られる大阪府堺市の社会福祉法人「心の家族・故郷の家」にも金一封を伝達した

# 成人式・新年の集い 関西済州道民協会

1995.1.18



晴れて二十歳を迎えた新成人を暖かく祝福し、心づくしの記念品を伝達した



役員、会員も多いが、慎んでお見舞いを申し上げ、出席者の皆様に感謝を申し上げる」と前置きして、次の通り報告した。

済州道総合開発の国家プロジェクト（一九八五〜九二年）が推進されており、昨年五月には「二一世紀済州道総合開発計画」が策定され、新たな段階に

入った。また、私たちが在日同胞の故郷における活動に便宜を図るための「僑民室」が済州道庁に開設され、六月には私たちの拠り所となる「関済協ビル」がオープンした。さらに、済州四団体統合の創立総会、故郷訪問団事業をはじめ、各種の会員親睦事業を積極的に進めた。

財政報告では、洪正雄財政部長が収支報告等を報告し、洪性仁監事が監査報告を行った。続いて、事業計画案（金廣侑・事業部長）と収支予算案（洪正雄・財政部長）を審議し、原案通り満場一致で採択した。

また一九九五年度事業計画案は次の通り。

- ①総会・新年会・成人式の開催
  - ②基本財政確立事業
  - ③組織強化事業
  - ④会員懇親会の開催
  - ⑤趣味同好会事業
  - ⑥郷土との紐帯強化事業
  - ⑦機関誌発行
  - ⑧慶弔慰問
  - ⑨講演会の開催
  - ⑩青年育成事業
- 最後に、梁斗京副会長が閉会の辞を述べ、この日の総会をとどこうりなく終了した。閉会辞の要旨は次の通り。

大きな地震がおき、大きな被害を受けた中で第二回総会の開催でしたが、ご出席の皆様には心より御礼申し上げます。皆様からの物心両面にわたる温かいご協力のもとで一年間過ごしてまいりました。今年一年間も会長を中心といたしまして、頑張っていく所存でございますので、絶大なるご指導・ご支援のほどお願い申し上げます。

# 阪神大震災に小学生から大人まで

# 全道民から暖かい義援金

関西西済州道民協会は、「阪神大震災特別委員会」を設置し、会員に対して阪神大震災の義援金をお願いした。また、「今生、中学生を含む全道民から多



済州商工会議所の一行も本協会を訪れ、義援金を伝達したあと、本協会の案内で神戸地区を視察、被災同胞を慰問、激励した

で済州道を手助けしてくれた在日僑胞を、今度は済州道が助けよう」と、郷土済州道からも小学生、中学生を含む全道民から多戸などを視察し、被災同胞を慰問、激励した。

### 【済州道各級機関】

◆済州道知事(慎久範知事) 当時) 五千万ウォン ◆済州道職員 一同 五一九万七千ウォン ◆済州商工会議所(姜榮石会長) 一九三万二千元 ◆済州大学校(高長権総長) 一〇万円 ◆済州市職員(柳鳳永市長) 三九六万八千ウォン ◆北済州郡職員一同(申喆宙郡守) 二八二万一千ウォン ◆南済州郡職員一同(姜相周郡守) 二三八万五千ウォン ◆済州道西帰浦市職員一同 二二八万七千ウォン ◆北済州郡セマウル婦女会 二五万ウォン ◆済州道教育監(康楨殷) 一二四万一千円 ◆済州道公務員(小中高生含む)

八四二万二五九円 ◆済州道民有志(二三名) 一六七万四八八円 ◆済州道体育会 五〇万八千円 (※以上二、八四六万二千二百円)

### 【関西済州道民協会】

【一〇万円】 康忠男 洪鍾淳 韓長淑 金用文 梁斗京 高昌照 韓成根 康祐成 吳承明 康成文 吳辰成 洪佳佑 洪正一 吳景学 安泰榮 梁淳三 洪正雄 金孝晃 高廣侑 文安雄 金成洙 李純安 金聖大 韓成珍 安昌柱 康秉熙 金昌仁 金致富

### 【五万円】

孫博已 吳永守 朴信平 文榮二 任京寶 高基秀 洪官一 林泰連 高信弘 白国炯 邊寛信 李寛珩 金隆榮 玄祥玉 吳太瑢 金珩穆 康友彦 金達孝 金永柱 高翔満

### 【三万円】

康隆彦 趙泰華 朴景宅 康柄彩 金權一 安賢司 金享央 金徳彬 白永南 李華峻 康仲鎰

### 【二万円】

康彰秀 鄭永朝 金大淑 金景洙 玄在玉 金武炯 李弼鉉 康太洙 鄭錫夏 徐鏞河 申政治 禹瑾益 尹憲享 康奉洌 金權一 李舜芳

洪性仁 金容海 禹瑾成 金静順 鄭永贊

### 【一万円】

梁宇濟 金景玉 朴東植 梁輝雄 柳元玉 禹瑾昌 李允宅 高元三 邵英二 金聖周 梁根洙 金奉完 李大呂 金相哲 慎在孝 康贊益 金慶招 吳行男 高昌照 金炳鍾 金伸吉 吳君喆 高吉峰 梁富三 高賢弘 邵卿司 康奉洙 李斗玉 高智奉 姜柄鎬 宋同賢 金昌海 李泰勛 朴英一 徐昌昊 高昌國 梁鳳基 孫仁國 高榮秀 邊勝利 高英寬 高仲三 洪性洙 高時鍾 玄英洙 康斗洵 金相五 金太伯 韓伸泰 金壬順 康中彦 吳龍浩 申東熙 (※以上五、一四五、〇〇〇円)

### ※青年部会 一〇一万七千元

◎以上の義援金は被災死亡者十二名に十万円、家屋全壊四六〇件に五万円、家屋半壊一三二五〇件に三万円がそれぞれ伝達された。なお、被災者の中に本協会会員が五件(家屋全壊二件、家屋半壊三件)が含まれていて、それぞれに本協会から五万円、康忠男会長個人から五万円が追加配定された。

# 新知事に 慎久範氏

34年ぶりに  
統一地方選挙



韓国では三十四年ぶりの統一地方選挙が六月二十七日に実施された。济州道でも知事に慎久範氏（五三）Ⅱ写真右Ⅱが当選した。また济州市長に高政洙氏（六一）、西帰浦市長に呉光協氏（六一）、南济州郡守に康太勲氏（五五）、北济州郡守に申喆宙氏（五五）がそれぞれ当選した。

济州道知事選挙には禹瑾敏（民自党）、姜普性（民主

党）、慎久範（無所属）、申斗完（無所属）の四氏が立候補、激しい選挙戦を展開したが、一〇、九九票を獲得した慎久範氏が当選した。獲得票は禹瑾敏氏八八、八八九票、姜普性氏六六、一三三票、申斗完氏六、九三七票だった。他の道知事当選者は次の通り。

▽京畿道知事 李仁济（民自）  
▽江原道知事 崔珏圭（自連）  
▽忠清北道知事 朱炳徳（自連）  
▽忠清南道知事 沈大平（自連）  
▽全羅北道知事 柳鍾根（民主）  
▽全羅南道知事 許京万（民主）  
▽慶尚北道知事 李義根（民自）  
▽慶尚南道知事 金焮珪（民自）

## 金太智大使を歓迎



左から六人が金太智大使

本協会主催の「金太智駐日大使歓迎ゴルフ会」が五月四日、北六甲カントリークラブで五十二人が参加し、なごやかに行われた。

プレー終了後、同所で、懇親会がもたれ、席上、金太智大使は「私も济州道出身者の一人として、皆様の温かい歓迎に心より感謝します。それと同時に国家的なあるいは全同胞的な立場からの責任もひしひしと感じます」と述べた。

金太智大使は今年一月二十日付で赴任した。一九三五年济州道生まれの六〇歳で、ソウル大法卒、外務部東北アジア課長、亜州局長などを経て九三年五月

から駐独大使を務めていた。

## 金世沢・大阪

### 総領事が赴任

駐大阪韓国総領事に济州道出身の金世沢氏（五六）Ⅱ写真Ⅱが任命され六月末に赴任した。



金世沢・新総領事はソウル大卒で、外務部に奉職、駐日韓国大使館書記官、駐カイロ総領事、駐シンガポール大使、駐デンマーク大使などを歴任している。

## 民団大阪本部の

### 団長に洪性仁氏

### 議長に洪正一氏

民団大阪本部の第四一回定期地方委員会と第四九回定期地方大会が四月二十一日、同本部会館五階大ホールで開かれた。当日、任期満了に伴う三機関長の

改選が行われ、その結果、団長に洪性仁氏、議長に洪正一氏、監察委員長に金昌植氏がそれぞれ選出された。

新団長の洪性仁氏は本協会の監事、新議長の洪正一氏は同じく渉外部長で、今後ますますの活躍が期待されている。

### 【洪性仁団長略歴】



▽民団大阪本部青年部長  
▽民団東住吉支部議長  
▽民団中央本部直選委員

育会関西本部会長  
▽韓国平和統一政策諮問委員  
▽民団大阪本部監察委員長（二期）  
▽白頭学院常任理事

### 【洪正一議長略歴】



▽民団茨木支部事務部長  
▽同副議長、副団長、支団長（二期）

▽民団大阪本部民生部長  
▽同事務局次長、副団長  
▽民団中央本部權益擁護委員  
▽韓国民主平和統一諮問会議委員  
▽大阪指紋制度撤廃委員会事務局長  
▽大阪韓国人生活協同組合理事  
▽茨木・摂津日韓親善協会理事

## 特別企画 会長団座談会

# 21世紀へ 向けての関済協

本会会議室で開かれた会長団座談会



## 関済協ビルを拠り所に夢とロマンのある組織づくり

司会（金成洙企画部長）　このたび、企画部の方で会長団による座談会を企画いたしました。テーマは「二一世紀へ向けての関済協」ということで、公私とも多忙な折、ご出席くださいます。濟州四団体（道民会・親睦会・開発協会・青年会）が一つに統合しての関済協が設立されて一年余、二一世紀まであと五年とわずかな年数を残すばかりとなりましたが、二一世紀を担う二世三世の人たちに対して関済協は何をしていけばいいのでしょうか。各部の活動をザックバランにお聞かせ願いたいと思います。まず、会長から組織全体の方針あるいは目的ということをお願い致します。



康忠男会長

康忠男会長　関済協が設立されるまでは四団体がライバル意識をもってそれぞれに活動し、それが、発展の原動力にもなっ

ていました。が、近年、経済的にも他のいろいろな面でも活動が徐々に沈滞していき、一つに統合しなければいけないとの声が大きくなって、皆さんの献身的に努力が実り、仲良く一致団結して関済協が誕生しました。

統合する過程で、いろいろな意見や考えもありましたが、そういう考えや意見を集約して一つに大同団結したので、その将来の夢とロマンを追っていき、その夢とロマンを具現していくためにはどのような組織づくりをしていくかを片時も忘れてはならないと思います。その一つの基礎となるのが、私たちの拠り所となる会館の保有だと考え、それに心がけてきました。が、幸い、皆さんのご協力で「関済協ビル」が保有でき、一歩一歩前進していることは非常に喜ばしい限りです。

洪鍾淳（総務）副会長　我々は大同団結するのが夢でした。四団体が一つになり、会館も出来たことですし、これからは二世三世たちが関心を持ち、濟州道人の誇りをもって、この会館を維持し、郷土との紐帯強化を





洪鍾淳(総務)副会長

いかにしていくかということを考えていただければいいかと思えます。その意味からも、青年部の皆さんに期待するところは大きく、二一世紀に向かって人間のあり方と我々道民の前進のあり方を充分に考えて、この会館を、苦勞してつくったこの会館を守っていつて欲しいし、大いに活用して欲しいと思いません。

**呉辰成(財政)副会長** このたび四団体が、祖国の統一より難しいといわれていましたが、統合できて本当に嬉しいと思います。統合できたのはやはり康忠男会長を推戴したことが大きく、会長の理念と言いましようか、一致団結して仲良くし、難しい問題は歩きながら考えようという、こういう会長の姿勢が私たちに強くアピールし、受け入れられているのではないかと思います。

私は財政担当ということになり、力不足の私がかんな大役を引き受けて大丈夫だろうか心配しておりましたが、統合の際には会長が五千万という大金をポーンと出され、他の役員もそれに続くという形で、またたくまに二億七千万円というお金が集まりました。おかげで、当初の心配は、どこへやら飛んでいきましたが、これは済州道人として、道民のために何か一つ形を残したいということで、そのような多額の誠金が集まったものと思います。そして、こういう立派な会館ができて喜んでおります。



呉辰成(財政)副会長

これからの財政のあり方としましては、役員の方々を中心にして毎年賛助金をいただくということは無理が生じると思いませんので、ある一定の期間をおいた後は道民全体の会費で運営さ

れるようにならなければならぬと感じております。また、この関済協ビルの空き部屋をどのようにして利用するかも重要な問題です。賃貸で貸すというのではなく、道民に役立つような利用法、あるいは文化的な利用法はないだろうかということも考えながら、関済協ビルの運営を皆さんと一緒に力を合わせて、前向きに考えていきたいと思っております。

**梁斗京(組織)副会長** 長年の夢でありました四団体が統合し、康忠男会長を中心にして発足したわけですけれども、一年が経過した一月十七日には阪神大震災が起りまして、郷土・済州道からいろんな支援金を持つてきていただきましたが、もしもこの関済協が統合していなければ、どうだったかと思う時があります。統合されていず四団体のままであれば、様子もかなり変わっていたでしょうし、その意味からも四団体の統合は大成功だったと評価しております。それに、各機関、各団体での済州道人の活躍が目を引きたく昨今ですが、済州道人の一人として喜ばずにはいられませ



梁斗京(組織)副会長

ん。ですから、この関済協ビルができたことを契機にさらに頑張っていくかなければならないと、また、そう義務づけられていないのではないかとも思う次第ですが、組織担当として、会員増強運動をまず強化していきたいと思えます。四団体が一つになるに際しまして、親睦会から百数十人、道民会から百数十人という形で集団で大量に入会していただきましたが、正直申しまして会員の現状把握はまだできていません。ですから、新しい会員を増強しながら組織作りをしていく過程におきまして、

関済協に協力していただけた方々を一人でも多く勧誘していきたく思っております。一年なり二年なり、当面そういう方向での組織作りをしつかりやっていく所存ですが、その組織作



金用文(事業)副会長

りが一段落した後に、呉辰成財政部長が言われた会費制の導入を検討していけばいいのではないかと思います。

**金用文(事業)副会長** 五月初旬の駐日大使の歓迎会でも地域的な応援に対しありがたい気持ちと、それと同時に責任を感じるといふ発言もございました。現今、価値観の多様化というのでしようか、日本の社会自体も経験していない時代に入ってきて、会社本位制、つまり会社を

信頼して一生懸命やっていけば幸せになる思っって一生懸命やってきたのが、曲がり角にきています。そういう社会の中にあっても、人間の血縁関係とか地縁関係というものは永久になくならないわけです。それをベースにして慰めあい、激励しあつて、人間の幸せとは何であるのかをお互いの生活の中で考えていくようにすればいいのではな

いでしようか。お互いが協調し  
あつたらこの世の中は住みよ  
なる筈ですから、そういう方  
向で、ボランティア精神に徹し、  
この関済協を育成していただ  
と考えております。



呉景学(体育)副会長

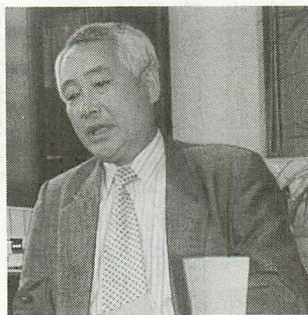
**呉景学 (体育) 副会長** 私は  
体育担当ということですが、人  
それぞれに考え方は違うと思  
いますし、それが自然な状態だ  
と思います。関済協はあくまで  
親睦団体であるということ、こ  
れが一番大事ではないかと思  
います。では、親睦団体とはい  
なるものなのかということにな  
りますが、四団体が統合して一  
つの組織をつくり、財政をつ  
くってまいりました。今までの  
活動を見ますと、初期の目的は  
一応達成されたと思はしてい  
ます。十二分とは申しませんが、  
目的は達成されたと認識して  
おりますし、私たち役員に對する

一般会員の方々の期待も大き  
いようです。しからば、これか  
らは、私たち役員が関済協をど  
のようにリードしていくかが問  
われることとなります。

私が担当している体育部では  
ゴルフ会がメインイベントです  
が、第三者から見れば、たかが  
ゴルフ会じゃないかと言って批  
判的なご意見を出される方も  
いらっしゃると思います。が、今の世  
上からすると、ゴルフ会というの  
はわりかた大きなウェートを占  
めます。今までゴルフ会を三回  
やりましたけれども、一五〇名  
前後の会員が集まるというこ  
と、しかも済州道関係の方ば  
かりが集まるということは、昔  
だったら考えられないことでし  
た。しかもご婦人の方がたく  
さんおられ、また、総領事をは  
じめ要職の方々も多数来られ  
て、パーティーの雰囲気も非常  
にいいと感激する人も多くいま  
した。

言い換えれば、大阪の済州道  
民が遊びをゴルフの場に求め  
ていると私は評価しております。  
ですから、たかがゴルフ会です  
けれど、ゴルフという遊びの場  
の中で会員同士の融和がさら

発展していけるよう努力したい  
と思えます。たまたま一つの  
ブームの中のゴルフというこ  
とですけれども、将来、ゴルフ  
がすたれて他のスポーツが出て  
くればそれに対応していくとい  
うこととなります。私はあまり  
難しいことを言うのは嫌いで  
すから、親睦会としては遊びの場  
を持つことが永遠に生きる道  
ではないかと単純な考え方を  
もっております。



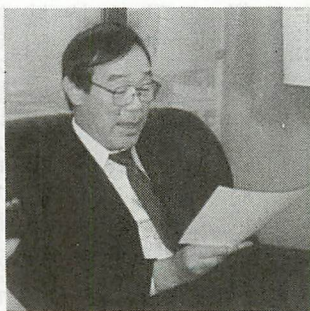
安泰栄(青年)副会長

**安泰栄 (青年) 副会長** 私が  
言いたいことは皆さんが言  
ってしまいましたが、特に青年部  
の担当といたしまして、一言述  
べてさせていただきます。いま  
まです。会長をはじめ諸先輩  
のおかげで統合でき、立派な建  
物もできました。これで基盤は  
磐石なものになりつつありま  
すが、関済協の伝統をつくっ  
ていくということになります  
と、やはり若

い人の力は大きいものです。こ  
れからも継続して十年、五十  
年、百年と、関済協の伝統を  
つづけていくことになると思  
いますが、青年達ももう三世  
四世の時代になってきてお  
ります。そういう中で韓国が  
先祖の出身地というルーツ  
を絶対忘れないようにし  
ようというのと、それと  
出来ましたら大阪の関済協  
という般に閉じこもらず郷  
土済州道の青年達とも交  
流する機会をつくるように  
したいと思います。当初の一  
年間は、会長の歩きながら  
考えるという姿勢のもと、  
仲良くやっていくというこ  
とで、私は常任副会長とし  
ていかに会長を補佐し、  
またそれぞれの副会長と  
共

をみると、そしていろいろな形  
でお互いの苦勞も楽しいこと  
も分かち合うと、そういう青  
年であつて欲しいと思います。  
ですから、そういうリーダー  
づくりをしていきたいと思  
います。

**韓長淑 (常任) 副会長** 康忠  
男会長のもとに各担当の副  
会長がそれなりに協力して  
やってきましたが、私なりの  
点数をつけると七十点代ぐ  
らいじゃないかと思ひます。  
当初の一年間は、会長の歩  
きながら考えるという姿  
勢のもと、仲良くやってい  
くという中で、私は常任副  
会長としていかに会長を補  
佐し、またそれぞれの副会  
長と共



韓長淑(常任)副会長

い人の子供達を思うように動  
かそうというのではなく、青  
年達が自主的に腹の底から  
思つて行動するように育て  
ていくことが大事ではないか  
と思ひます。私たちの息子  
だつて、押しつけるという  
ことでは、今まではこうだ  
からあうだからと押しつけ  
るのではなく、青年達自身  
が本心にそう思つて、関  
済協を発展させていくんだ  
と、そしてその中において  
勉強も、いろいろな講演会  
も開き、大阪における済  
州道民のレベルアップ

を  
図ると、そしていろいろな形  
でお互いの苦勞も楽しいこと  
も分かち合うと、そういう青  
年であつて欲しいと思います。  
ですから、そういうリーダー  
づくりをしていきたいと思  
います。

# 在日の一員として 結束し仲良くする ことからまず出発

行事に対する参加率がまだ非常に弱いのではないかと思うからです。例えば、在日済州道人をテーマにする勉強会でしたが、これは在日済州道人がどういう過程で来て、どういう職業、どういう生き方をしてきたのかというもので、私は非常に興味をもつて行ってきましたが、私が知っている済州道人の姿は非常に少なく、こういう勉強会というのはめったにないことですから、非常に淋しい思いをいたしました。

んが、二一世紀はまぎれもなく二世三世の時代です。民団や金融機関など私たちを取りまく民族組織を眺めてみますと、二世三世はなべて組織に無関心です。ですから、安泰栄副会長が言いますように、いずれ二一世紀を背負う青年部をいかに考えるかということは非常に大事なテーマです。私なりに非常に苦慮しますのは、祖国と在日との関係です。私はまず在日の一員として結束し、仲良くするということから出発しなければならぬということを感じながら、四団体が一つに統合されたということで、関済協に対する郷土の各機関の期待もさらに大きくなって、時には非常に負担を感じる時もあります。在日済州道人の生活水準あるいは生活実態というものはそんなにいいものではありません。五〇パーセント以上の人がまだ自分の家も持てないでいるのです。

要請し、しかる後に在日済州道人の協力を要請するという姿勢があればいいのですが、関済協に対する期待があまりにも強くて、ハナから協力を要請されるのが現状です。体を動かし汗を出すぐらいの協力は厭いませんが、中には非常に難問題もありまして苦慮せざるを得ないのが現状です。民族教育でも白頭学院や金剛学校のいわゆる基礎教育の面においてさえも四苦八苦しているのが実状です。こういうことを感じながら、せっかくできた関済協ですから、一千名ぐらいの会員は必要であろうと思います。じゃ入会したらどうなるかと問われた場合、やはり参加して楽しく、あるいは人間の出会いの場ということになればいいのではないかと思います。その意味からも、三十人、五十人と新入会員の歓迎会を年何回かもち、食事を共にしながら、二一世紀の関済協を語り合う場も必要だろうと思います。七十代はつけられる関済協ですから、いずれの日か八十代がとれるように今後とも努力していきたいと思えます。

高昌照(企画)副会長 企画部というところで会報の発行が主な仕事ですが、昨年、金容海常任相談役から済州道の少年野球チームを紹介されまして、その少年野球チームと在日の少年野球チームとの親善交流試合の橋渡し役を関済協がしてみたらどうかとのお話がありました。私事で恐縮ですが、私は大阪商業大学野球部の監督と友人という関係もあって、野球部の後援会長を三十年以上やっておりますし、私の三男も京都の仏教大学野球部の監督をやっております。野球に関しては多少縁が深いものですから、非常にいいお話だと感服しました。



高昌照(企画)副会長

をし、是非実現しようと、金容海常任相談役はじめ李純安文化担当副会長、安泰栄青年担当副会長の方々とも相談し、親善試合をきっかけにして、在日同胞の子弟の多い生野の小学校と郷土済州道の小学校との姉妹提携や、あるいはホームステイ的なこともできたらいいのではないかと、構想を膨らませています。準備をしておりますが、諸般の事情で流れてしまいましたが、郷土の青少年との交流、とくにホームステイ的な交流は、親も何かの形で参加するようになりまして、より一層の交流や親睦が図られるものと考えておりますので、将来はそういうホームステイ的な交流を是非実現していきたいと願っております。

司会(金成洙企画部長) 以上で、二一世紀へ向けての各部の目標というものをうけたまわり、ありがとうございます。つぎは、これからの関済協をどのようにしていけばいいかについて、自分のセクションに捕らわれず、忌憚なく皆さまのご意見をお話していただきたいと思います。ではないかと思えます。



李純安（文化）副会長

濟州島には、古来から賢者聖人が流されてきて、郷土の文化高揚に大きく貢献しました。中でも史跡・五賢壇に祀られている李朝時代の高官の金淨・宋麟寿・鄭瀛・金尚憲・宋時烈の五賢人は、いまなお島民の篤い追慕を受けております。

関済協もこの故事に学ぶまでもなく、会員の資質向上をめざして、グレイドの高い内容ある文化講演会を開催したいと願っております。テーマとしては、やはり二一世紀を迎える在日同胞社会のあり方、あるいは郷土との紐帯強化ということになるかと思えます。

金用文（事業）副会長

今までは関済協ビルの財政問題等で目いっぱい活動してきたため時間的にも余裕がありませんでしたが、来年度あたりからは執行部会議等で一つの目標値を設定して、プロジェクトチームを組織し、本年度は一つこれをメインにして動きましょうと、そして、それがある程度終わったから、二年度はまた新しい目標値というか指針を決めてという具合に、その目標値を年々変えてドンドンやっていけば相応の実績が出てくると思います。例えば、郷土との交流においても、毎年招請するものとかそうでないもの、あるいは支援するもの、そうでないものをきちっと計画を立てて決めておくということも必要ではないでしょうか。いずれにしても、青年部育成の問題はむずかしい問題だと思えます。

韓長淑（常任）副会長

過般、済州道大学の方々が見えまして、東京では三十人ほどが集い済州大学の実状を聞いたようです。関済協でも六十人ほどが集まって同様の話を聞きました。それによりますと、総合大

学として理工学部や医学部もつくりたいと、そのためには年間一千億ウォンぐらいかかるということ、済州道人の誇りを保つためには済州大学を発展しなければならぬから在日同胞の支援を仰ぎたいということでした。その趣旨は立派で、私もそうあって欲しいと願いますし、感動もしました。余力があれば大いに協力していきたいと思っております。

ところで、在日同胞のほとんど

時代を担う青年部

育成が緊急の課題

同胞社会に何か

役立つ団体として

.....

どは学校へ行くどころか、食うや食わずの状態です。日本に来て、一生懸命働いてきました。それでも二〇坪の自分の家を持っていない人が半数もいます。生活が苦しい人に大学の話をしてもなかなか理解していただけません。それに、大阪の民族学校の運営は財政的にも苦しく、義務教育的な範囲でも難しい運営に

さらされています。ですから、大学教育よりもまず基礎教育が大切だという意見もかなり聞きます。そういう意味からも、在日同胞は過大評価されているきらいがあり、苦しい立場にあるということを知って貰いたいと思います。

康忠男会長

確かに私たちの実力以上にPRが先行して、私たちの実力を超えるような難問がしばしば見受けられます。阪神大地震でも全壊した人が三百軒以上ありますし、親睦団体としてそういう同胞に対して十萬円の援助金もできない状態にあります。にもかかわらず、宣伝がいきすぎて、あの会長に言えども聞いてくれるということになつてきているようで、誠に申し訳なく思っております。

いずれにしても、せっかく関済協が出来たのですから、二一世紀に向かって在日二十萬の済州道民のために、何か役立つような親睦団体に発展していくことが私たちの夢です。ですから、まず在日同胞のことを視野に入れて、関済協ビルという抛り所も出来たのですから、何かやるんだという夢を、そうい

う夢を若い青年たちが持つようになればいいと思っております。

吳景学（体育）副会長

これは三世四世の時代ですが、残念ながら、関済協が主催したゴルフ会でも青年部の参加は非常に少ないのです。私を含め六十歳以上の人はまだ民族意識があつて、各種団体に加入しておりますが、時代の流れというのでしようか、私の息子も含めて若い人は民族意識が薄れてきています。ですから、青年を五十名ぐらい入れるという問題が出た場合は、民族意識を強調して入れるという方式ではダメだと思えます。関済協がいくら民族意識の中にあつても、「オマエ、チエジユドの血ひいているから入れ」と言つても無理です。関済協に入ると非常に面白い、先輩のいろんな面白い話が聞けるし、参考になるといふような単純な気持ちで入ってきていただく方がいいのではないのでしょうか。それに、今の行事を見ますと、執行部の計画的な議案よりもスポーツの議案の方が多いようですし、ここにも一つの大きな課題があると思えます。



康乘熙 (渉外) 副会長

島民の心のふるさとである漢拏山は、二千年前は活火山で、その熔岩は海岸線にまで押し寄せ、多くの奇岩名勝を創り出しました。今は山の稜線がゆるやかに伸び、神々しい思いを抱かせますが、その漢拏山の麓で、子弟の夏季学校を開催し、また、漢拏文化祭にも協助、参加したいと思えます。

そうした行事を通じて、漢拏山に育まれた郷土の温かさを体験させ、濟州道人の誇りをより堅固なものにさせたいと、そしてそれは二一世紀を生きる若い世代にとっても大きな収穫になると確信しております。

吳辰成 (財政) 副会長 四

団体が統合する前に活発な活動をしていたのは青年会です。OBの応援もあつたりして、濟州大学へ図書も寄付し、ゴルフ会でも大勢の人が集まり、夫婦同伴でちよつと派手なパーティーもやつたりしていました。で、統合する時に、青年会は傘下団体にして残そうということもいぶん論議しましたが、それでは統合にならないかというところで、青年部になったのですが、若い人を育てるには、青年部としては育ちにくい面があるのではないのでしょうか。若い人の独立心を旺盛にするためには、青年会の会長として在日同胞社会に参加し、郷土濟州道へも行くという方がいいのではないかと、そして関濟協としては、青年会を代表して頑張れよと、いくばくかの応援をする形の方がいいのではないかと思えます。いずれにしても、青年の独立心を育てる方向が望ましいと思えます。

梁斗京 (組織) 副会長 一

一つの団体に統合されて、三世四世の時代になってきますと、彼らが関濟協に目を向けてくれる

かどうかということとは非常な関心事ですし、目を向けさせるために我々はどうするかということも重要なテーマです。今まで我々一世は郷土の濟州道にかなり貢献してきているわけですから、郷土への貢献はもうこれでもいいのではないかという意見も最近よく聞きます。それよりも我々同胞社会、つまり十二万の濟州道出身者がいかに団結し、いかにレベルアップを図っていくかが一番重要な問題ではないのでしょうか。正直申しまして、日本経済の谷間の中で、我々在日同胞の経済活動や生活水準は決して高いレベルにあるとはいえません。その端的な例が金剛学園とか白頭学院の運営です。両校とも財政的に非常に困っていると聞いています。我々はまずこころした身近な問題を握って解決していく姿勢が大切ではないのでしょうか。

洪鍾淳 (総務) 副会長 郷

土からお客さんが見えた場合は、いつでも礼を尽くして歓迎しなければなりませんし、関濟協はその点、いつも礼を尽くして歓迎してまいりました。いずれにしても、関濟協という

組織は限られた財政の中で運営をしておりますから、まず、財政面をどのようにするかということを中心に考えていく必要があると思えます。ものの道理として、子供が親から金を下さいと言つて貰い、その子供が自由にするということは基本的に間違つているでしょうから、何はともあれ、道理のある運営に心がけていきたいと思えます。

安泰榮 (青年) 副会長 若

い人に青年部に入るように勧誘しますと、「入つて何がええことあるねん」と、まず目に見えたメリットを問題にしてきます。今の若い人は考え方が合理的というのでしょうか、何が得するねん、何が楽しいねんという発想です。青年たちというのは、祖国のことも同胞社会のこともそんなに考えていないと思えますし、ただ自分たちが楽しく、ですから、ここらあたりのことを踏まえて、青年部を今後どのように育成していくかを、何人かで小委員会でも構成して考えて見たいと思えます。先ほど吳辰成副会長の独立させたらという貴重なご意見もありますし、それも参考にしながら、同

世代の者同士が集まって話をし、ゴルフをし、あるいは少し贅沢かもしれませんが夫婦同伴のパーティーをする、まあそこからへんの行事から青年部を育成していきたいと考えております。



金成洙 企画部長

司会 (金成洙 企画部長)

これで時間もまいりました。本日は本当に貴重な時間を割いていただきましてありがとうございます。皆さまの本日の高見を参考に、関濟協が二一世紀へ向けて夢とロマンのある組織になつていくよう祈願しまして、本日の座談会を終わりたいと思えます。

なお、本日、入院あるいは所用等で欠席されました李純安、康乘熙の両副会長には後日コメント (別掲) をいただきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

# 理事会を開催

- ◎ 吳承明会長代行が常任顧問に
- ◎ 韓長淑総務副会長が常任副会長に
- ◎ 洪鍾淳厚生副会長が総務副会長兼任



「百楽」で開かれた  
第3回理事会

第三回理事会が三月十九日、大阪市天王寺区の「百楽」で開かれ、旧年度事業報告および収支報告、新年度事業計画案および収支予算案等を審議し、原案通り満場一致で承認、採択した。

また、吳承明会長代行が常任顧問に、韓長淑総務担当副会長が常任副会長に、洪鍾淳厚生担当副会長が総務担当副会長に、李永哲事務長が事務部長に異動する人事をそれぞれ了承した。

## 事業日誌

一九九四年七月、

一九九五年六月

【七月】▽四日 第七回執行部定例会議（事務所）▽一四日

- 【七月】▽四日 第七回執行部定例会議（事務所）▽一四日
- 【八月】▽五日 第八回執行部定例会議（事務所）
- 【九月】▽五日 第九回執行部定例会議（事務所）▽二三日 組織部会議（事務所）▽二六日 体育部会議（事務所）▽二〇日 会長団会議（事務所）
- 【十月】▽三日 第一〇回執行部定例会議（事務所）▽六日 第二回ゴルフコンペ（コマC）▽一五日 慎久範知事一行来訪（事務所）▽一六日 濟州道観光開発投資説明会（国際ホテル）
- 【十一月】▽六日 野遊会（神戸フルーツフラワーパーク）▽七日 第一一回執行部定例会議（事務所）▽一一日 濟州道女性海外研修団一行来訪（事務所）▽二二日 玄敬大國會議員来訪（事務所） 総務部・財政部・青年部会議（事務所）
- 【十二月】▽五日 第十二回執行部定例会議（事務所）▽六日 会計監査（事務所）▽十九日 第三回理事会（上六南海飯店）▽二八日 会計監査（事務所）
- 【一九九五年一月】▽一八日 第二回定期総会（太閤園）▽二〇日 阪神大震災見舞金一〇〇万円伝達（民団大阪本部）▽二四日 濟州商工会議所常任委員阪神大震災慰問団七名来訪・慰問金伝達（事務所）▽二五日 阪神大震災被災地視察（神戸地区案内）▽二六日 濟州道特産品展示商談場契約（濟州交易）▽二七日 阪神大震災被災僑民慰問団十七名来訪・慰問金伝達（事務所） 阪神大震災被災地視察（神戸地区案内） 第一回運営委員会（事務所）▽三〇日 阪神大震災被災地慰問（会長団）
- 【二月】▽六日 第一回執行部定例会議（事務所）▽八日 阪神大震災濟州道庁慰問団二名来訪（事務所）▽九日 阪神大震災特別委員会（事務所）▽一五日 阪神大震災特別委員会兵庫県視察▽二七日 阪神大震災特別委員会（事務所） 第二回運営委員会（事務所）
- 【三月】▽一日 三・一節記念行事（民団大阪本部）▽六日 第二回執行部定例会議（事務所） 濟州道特産品常設相談場開設（関済協ビルE）▽一四日 濟州道体育会一行来訪（義援金伝達）▽二二日 臨時執行部会議（事務所）
- 【四月】▽三日 第三回執行部定例会議（事務所）▽二〇日 体育委員会（事務所） 第四回運営委員会（事務所）▽二六日 第三回ゴルフコンペ（北六甲）
- 【五月】▽四日 金太智駐日大使懇親ゴルフコンペ（北六甲）▽五日 会長団座談会（会報第二号掲載） 第四回執行部定例会議（事務所） 濟州大学校発展後援会関西地区説明会（事務所）▽二五日 夏季郷土学校募集打ち合わせ（総務部）事務所）▽三〇日 ハンラ文化祭打ち合わせ（渉外部）事務所）▽三一 第六回運営委員会（事務所）
- 【六月】▽二二日 会報第二号発行打ち合わせ（企画部）事務所） 義援金特別委員会（事務所）

# バラエティー に富む 各部の行事

本協会の各部の新年度の事業計画案は次の通り。なお、四月末日現在、本協会の会員総数は六一二名で、うち役員は一六二名。役員の内訳は顧問九名、相談役三六名、執行部二二名、監事三名、常任理事二三名、理事六九名である。

【財政部】 財政確立事業、会長団の率先垂範による特別賛



本協会主催の「濟州道観光開発投資説明會」が昨年10月16日、大阪市中央区の国際ホテルで、本協会関係者約100人が出席して開かれた。写真は説明にあたる慎久範知事（当時）

助金活動を展開する。

【組織部】 組織強化と内部充実を図りながら、会員拡充と婦人部結成をめざす。

【事業部】 会員家族間の相互親睦を深めるために、野遊会（十月頃）を開催する。

【企画部】 会報第二号を発行（七月頃）し、各種事業を内外に幅広く広報する。

【厚生部】 会員の慶弔慰問を徹底化する。

【渉外部】 濟州道地方公務員教育院を会場に四泊五日の日

程で夏季学校（八月一日〜五日）を開催する。漢拏文化祭（十月七日〜十三日）に協助、参加する。

【文化部】 各部署と調整の上、内容ある講演会を開催する。

【体育部】 会員相互の親睦を図るためゴルフコンペを開催する。

【青年部】 青年部を育成、強化する。



本協会が主催した「第八回アジア太平洋音楽祭関西地区演奏會」が昨年7月25日夕、民団大阪会館五階で開かれ、本協会関係者約200人が参加して、美しい音色を楽しんだ。写真は歓迎の挨拶を述べる吳承明会長代行（現常任顧問）

## 【行事ご案内】

- '95 夏季郷土学校
- 8月7日（月）～11日（4泊5日）
- ハンラ文化祭
- 10月7日（土）～10日
- 文化講演会
- 11月頃予定



### 第2回ゴルフコンペ

本協会の第2回ゴルフコンペが十月六日(木)、コマカントリークラブで一六二名が参加し、なごやかに熱戦を繰り広げた。(写真)

その結果、アウト四五、イン四四(ハンデ九・二)の松本隆氏がネット六九・八で優勝した。準優勝は三七、三三(ハンデ〇)の新木相薫氏で、ベストグロス賞も獲得した。三位は三八、三七(ハンデ四・八)の康田彰良氏が入賞した。

### コマで第2回ゴルフ会

162人が参加

### 北六甲で第3回ゴルフ会

112人が参加



なお、四位から十位までとブービー賞の成績は次の通り。

(敬称略) ▽四位 高山昌照(四〇、四二) ▽五位 豊川剛司(四二、四二) ▽六位 呉城景学(四〇、四二) ▽七位 梁川広芳(四三、四四) ▽八位 柳川哲太郎(四〇、四〇) ▽九位 吉田秀光(三八、四二) ▽十位 吉本勝(三六、三七) ▽ブービー賞 新井恒寛(六九、七三)

### 第3回ゴルフコンペ

本協会主催の第3回ゴルフコンペが四月二十六日(水)、北六甲カントリークラブ・東コースで百十二人が参加し、なごやかに繰り広げられた。来賓として朴鍾沂大阪総領事夫妻はじめ、金時顕民団大阪団長、李相均大阪韓商会長らも顔を見せ錦上花を添えた。

熱戦の結果、アウト四三、イン三五(ハンデ七・二)の吉本勝氏がネット七〇・八で見事優勝を飾った。ベストグロス賞も合わせて獲得した。準優勝は四五、四三(ハンデ六・八)の和田祐吉氏、三位は三九、四二(ハンデ九・六)の池田室基氏がそれぞれ獲得した。

なお、四位から十位までとブービー賞の成績は次の通り。(敬称略) ▽四位 康田武良(四四、四二) ▽五位 石原修三(四三、三六) ▽六位 康富正三(四六、四五) ▽七位 高山昌照(四一、四三) ▽八位 河島康二(四一、四三) ▽九位 津島友彦(四三、四〇) ▽十位 金坂幸雄(五〇、五〇) ▽ブービー賞 松川範子(七四、六六)



# 神戸フルーツフラワーパークで 200人が参加し、楽しい1日



## 野遊会

本協会主催の野遊会が昨年十一月六日(日)神戸市立フルーツフラワーパーク(写真)を会場に行われ、約二百人が参加して楽しい一日を過ごした。当日午前九時、本協会前から大型観光バス四台に分乗して出発、阪神・中国道の高速道路を快走して、十時に神戸フルーツ

フラワーパークに到着、園内を見学した。

昼食はバーベキュー料理を楽しみ、席上、豪華賞品があたる抽選会が行われ、一喜一憂のどよめきが館内をおおった。

午後四時過ぎ、見学を終え、バスに分乗して帰阪し、解散した。

午後四時過ぎ、見学を終え、バスに分乗して帰阪し、解散した。

### 大阪韓商が済州で チャリティーゴルフ会

済州道を会場に昨年十一月二十五日から二泊三日の日程で、大阪韓国商工会議所(李相均会長)主催による「チャリティーゴルフ イン チェジュ」が開催され、本会関係者も多数参加した。寄付金は道内の福祉施設に寄付された。

### 大阪韓商が

### 総会と講演会

横山ノック知事も  
駆けつける

大阪韓国商工会議所(李相均会長)は五月二十六日午後、大

済州道で行われた大阪韓商主催のチャリティーゴルフ会



阪韓国人会館五階大ホールで約三百人が参加したなか第三八期定期総会と時局講演会を開催した。

この行事に、横山ノック大阪府知事もお祝いに駆けつけ、「在日韓国・朝鮮人と日本人との共生社会を根付かせ、定住外国人の地方参政権にも前向きで取り組みたい」と激励の言葉を述べた。

記念講演会では、坪井一宇・

自民党参議院議員が「国際化と定住外国人の権利」と題して講演した。定期総会では所定の議案を満場一致で承認、採択し、総会終了後、同所で懇親会がもたれ、なごやかに歓談した。

### 済州韓日協と

### 大阪日韓協が

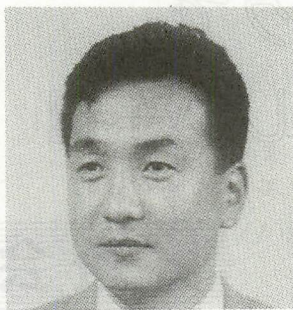
### 姉妹結縁

韓日親善協会中央会済州道協会(姜榮石会長)と大阪日韓親善協会(宮道大五会長)が姉妹結縁を結び、一九九五年一月八日の大阪日韓親善協会新年互礼会の席上で、締結書が交換された。済州韓日親善協会は済州市二徒二洞一七六一五三の済州商工会議所内に事務所を置いている。

### アジアナ航空が

### 大阪と済州就航

一九八八年に韓国第二の民間航空会社として設立されたアジアナ航空が、四月から大阪―釜山―済州の航路を週二便開設した。大阪―釜山間が国際線で釜山―済州間は国内線である。



# 阪神大震災復興事業で

## かいま見る国籍の壁

### 参政権があれば行政に対しても積極的に意見が言えるはず・・・

関西济州道民協会

青年部会長

洪 碩 均

心よりご敬愛申し上げます先輩諸兄並びに会員の皆様方、二期の青年部会長を仰せつかりました洪碩均です。その重責に引き締まる思いです。

今年には関東大震災以来の未曾有の大惨事（阪神大震災）に襲われて半年が過ぎようとしています。

五四〇〇人以上を越す死者、その中には一二〇人以上の在日同胞が含まれております。亡くなられた方には心からお悔やみ申し上げます。また怪我をされた方、家を失われた方に心からお見舞い申し上げます。

六月一五日時点で、济州道の人達が受けた被害状況としては、全壊四六〇件、半壊一二五件、死者一二名となっております。この方々に関西济州道民協会と青年部より、七月中には義援金の配当分配が出来る事と思っております。この場をかりて、青年部会の会員の皆様、多大な義援金のご寄付を、本当にありがと

うございました。

今後の復興にあたり、我々在日同胞を含む外国人に対する日本政府、自治体等の対応について制度的差別が減ってきたとはいえ、まだまだ外国人である故の差別は、依然として存在する現状で、各種補助制度の取り扱いで、国籍条項の壁が気にかかるところです。

その中でも国籍を問わず、熱心なボランティア活動が人々の心にすがすがしい感動の気持ちをもたらしたと思えます。しかしながら、今の行政を見ていると、少なからず不安が生じてきます。このような時、我々に参政権があれば、もつと行政に対して、積極的に意見が言えるのではないかと考えている矢先に「参政権裁判」の判決がありました。

我々が地方自治体レベルとはいえ、参政権が得られる可能性が現れてきました。このことは、日本にとっても国際化を進

める大きなチャンスでもありません。このことが現実になれば、「共生」が大きく広がりを見せ、社会に定着していくことでしょう。

さて、我々青年部を取り巻く状況が急速なスピードで変化をとげた事は、周知の事実となりました。それと環境の激変、世の中のモラルの低下、人々を混乱に導く危険分子、長引くバブル経済崩壊後の構造不況、その中で我々同胞が生きていかなければなりません。

### 青年部会

### 入会のすすめ

青年部会 組織部 康浩彦

在阪の济州道四団体が去る九月四年一月一六日に統合し、関西济州道民協会が産声をあげ早や一年半が過ぎました。

私たち青年部会も旧青年会会で培われた友情、友愛の精神を忘れずに日々励んでいます。関西济州道民協会の青年部としてのスタート後も新会員の入会により会活動も益々活発になっていきます。この親睦の輪をより大き

ればなりません。

最後に私は、旧青年会の活発な会活動、それと友情友愛の精神に誇りを持ってきました。今後、関西济州道民協会の諸先輩方を敬い、また後輩のため、今までつちかった信念に基づき、今後一層親密な交流をはかり、御家庭を含めた充実した会活動を行なうつもりです。会員の皆様、絶大なるご支援をお願い申し上げます。

なものとすべく今この紙面をお借りして青年部会をアピールさせていただきたいと思えます。まず青年部会は関西济州道民協会に属した一部会ではありませんが、部会としては唯一独立して活動していることを知って下さい。

今年度においては年会費二万円と道民協会からの活動費二五〇万円を総予算として月例事業を行っているところです。

青年部会には会長をトップとして常任、外務、内務の三副会長のもとそれぞれ総務、財政、事業、広報、組織、厚生と六つの委員会を構成し、委員長、副委

# 寄稿



## 明日に向けて

関西済州道民協会

青年部常任副会長 康文男

昨年一月、四団体が統合し、関西済州道民協会が発足し、また、協会ビルが間を置かずして出来上がりました。文字通り身を粉にした康忠男会長及び呉承明常任顧問（当時は会長代行）のすばらしい行動力に対し、青年部の一人として心より感謝したい。

よく十年一昔と言われますが、最近の私達の取り巻く環境は一年一昔と言えらる様なスピードであります。時代の流れを的確に捉えて、行動すべきは言うまでもありませんが、移り行く変化のスピードは余りにも早く、時としてそ

の変化に翻弄されてしまう昨今であります。

多様な現象に振り回される事なく歴史と歴史の断層の時代にあつて来たるべき時代の普遍性を認識し、次の時代を先取りすべきであります。戦後四五年続いたインフレ経済の物質的豊かさにお金による人生の成功の可否的価値観も八九年をピークとして現在に至るバブル崩壊過程及び九五年から本格化するだろうデフレ経済においてはほとんど意味をなさなくなっているが、その事に気づいている人が余りにも少ない様な気がする。

特に私達の日僑胞は戦後の差別的環境においてそれを跳ね返すべくお金による人生の成否に対するこだわりが強い為、残念ながら価値観を変えざる事を難しくさせている。また戦前の日韓併合政策に対する反動として民族主義的傾向が強く、これもまた来たるべき時代への先見性を鈍らせる要因となっている。

本国に余り目を向けるのではなく、グローバルな視点から僑胞社会を捉えて民族主義を越えた新しい価値観を生み出す事が急務であるが、それを構築するのは結局、二世、三世の仕事であり、関西済州道民協会青年部がその場の一つである事は間違いない。

### ①同郷、同習慣

青年部常任副会長 康文男

本国に余り目を向けるのではなく、グローバルな視点から僑胞社会を捉えて民族主義を越えた新しい価値観を生み出す事が急務であるが、それを構築するのは結局、二世、三世の仕事であり、関西済州道民協会青年部がその場の一つである事は間違いない。

### ②同世代

私たちが青年会は青年層という特異性をもっています。会員は現在の規約では四五才をもって卒業します。大半が二〇代後半から四〇代前半の人ばかりで、同世代ゆえに考え方や発想は一世のものとは異とします。これは大切なことであると思えます。青年だからこそ青年らしい粋にとられない発想で新しい感覚を会の中にどんどん取り入れなければなりません。つまり青年層が未来の道民協会を担っているということではないでしょうか？ だからこそ私たちが青年会は協会内に属しながらも独自の活動ができるのです。

同世代の他のいろいろな人の考え方、活躍ぶりによく勉強させられます。今この年令の時に他人から触発され発奮せずに、人生においていつ力を出すのでしょうか？ 他の会員たちから良い刺激を受け、日々の事業や生活の肥やしにしたいものです。

### ③先輩、後輩の関係

今の若い人にはあまりいい感じのしない言葉です。しかしどこか懐かしい言葉です。青年会

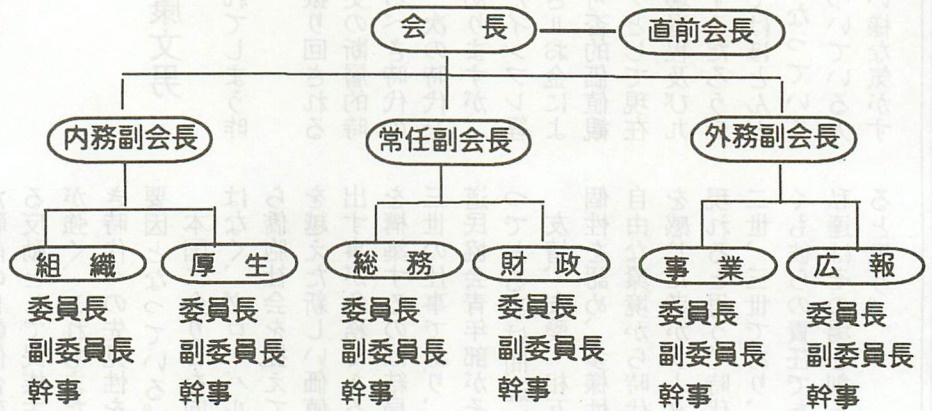
は四五才になれば卒業し、新しい若い人もどんどん入会して行くので常に世代が交代します。その中で先輩、後輩という関係が生まれます。日々の生活においては何ら利害関係のない人たちばかりですので、会社での上司と部下という関係ではなく学生時代の時のような先輩後輩の関係なのです。

先ほども言いましたが、会員全員が同じ立場、境遇の人たちですので、腹を開いて話し合えることができます。私は青年会に入会してから数多くの先輩ができました。後輩もできました。特に先輩の皆さんからは数多くのことを教わり学んだような気がします。またそれを次の世代に引き継げるよう後輩たちを指導してゆければと思います。

#### ④家族のための事業

青年会は年予算の大半を月例事業に使用します。月例事業も母国訪問、勉強会などさまざまありますが、全体的には家族のための事業が多いのが特徴です。私たちは皆、まだ子供もさほど大きくない年代ですので、男たちばかり外出しているような会

=組織図=



活動はあまり賛同できません。しかし私たち青年会の月例事業はボーリング大会、野遊会、スケート大会といった家族のための事業が主体です。かく言う私も実は野遊会に初めて参加して青年会のこと

に入りました。また女房も子供も青年会のこと好きになりました。こんな嬉しいことはありません。通常主人が会活動を始めれば、奥さんは気に入らないものです。しかし私たちの青年会はその逆です。奥さんの理解

のもとに会活動ができ喜んで貰えるわけです。家族ぐるみの事業が多いので奥さん同士でもまた友人関係が生まれ、子供たちもまた多くの友人ができます。

#### ⑤幹事会

私たちは月に一度幹事会を行います。通常一九時から始まるのですが、忙しい世代ですので、どうしても仕事を終えてから来るので遅刻してしまう人はいませんが、欠席の人はそう多くありません。(法事のある人は欠席します。こんなところにも同郷の団体のおもしろさがあります)

この年令になると結婚式での司会やスピーチ、会社での会議など公の場での発言する機会が増えてきます。初めて幹事会に出席した時に、意見を求められなくても何も言えないものでしたが、「習うより慣れろ」で今ではかなりうるさい方の部類になりました。会員の人は幹事会を毎月経験しているのです。はつきりはわかりませんが、そこそこの司会やスピーチなどは誰でもこなしてしまうのではないのでしょうか。緊張感を持つている人前で意見を述べることを多く

経験することは大切なことだと思います。

ここまで多々思うままに自分なりの青年会の長所をあげてみましたが、何をどれだけ声明しても「百聞は一見にしかず」です。

月例事業、幹事会にオプザーバーとして結構ですから一度のぞいて見て下さい。みんな温かく迎えてくれるはず。そこで今まで私が言いたかったことを少しでも理解していただければ結構です。そして無理な入会の勧誘は取っていません。お互いもう大人なのです。自分で何かを感じ取って入会是非を決めて下さい。そしてもし入会していただければ、新しい友人関係が一〇年二〇年と続いてゆけたらと願います。

八月一五〜二〇日

#### 九五済州国際音楽祭

韓国音楽協会済州支部の主催する「九五済州国際音楽祭」が八月十五日から二十日まで済州道で開かれる。これは韓国で初めての開かれる国際音楽祭で、「島、その風の響き」をテーマにしている。

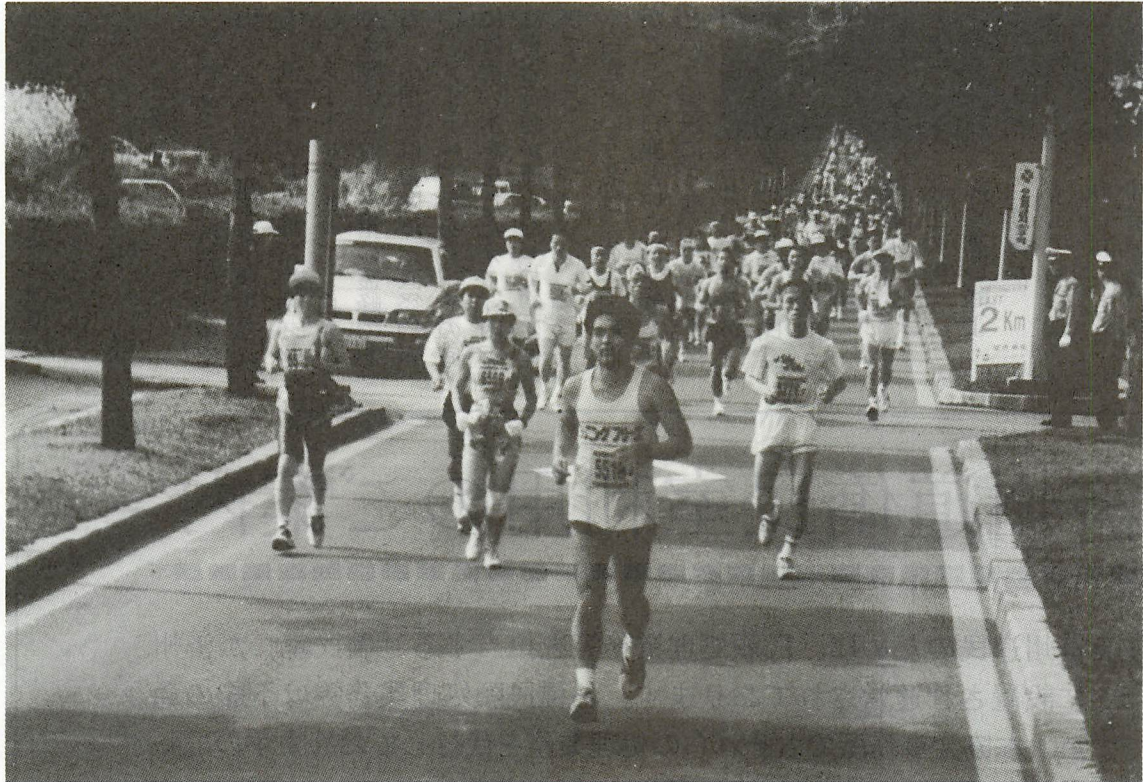
ハワイ・ホノルル  
マラソンを超えようと

# 第1回

## 濟州マラソン

来年度からは関濟協の組織を  
あげて応援～～梁斗京副会長

社団法人濟州道観光協会が主催する「第一回濟州国際市民マラソン」が四月十六日、日本からの訪韓組九百二十五人を含む一千二百八十三人(男性一千十八人、女性二百六十五人)が出走して行われた。フルマラソンには四百十九人、ハーフには百六十三人、十キロには七百一人が出走した。



コースは、濟州市総合運動場から、名所の竜頭岩がある海と菜の花の海岸道を折り返すコース

スで、大韓陸上競技連盟が公認、日本毎日放送、韓国放送公社、濟州道、韓国観光公社が特

別後援、大韓航空が特別協賛、関西興銀や新韓銀行なども協賛、阪急交通社の旅行主催で行われた。

十五日午後七時から漢拏体育館で前夜祭・開会式が行われ、金文卓濟州道知事、張正彦濟州道議会議長ら濟州道の代表的人士と尾崎薫毎日放送常務、神畑純夫阪急交通社常務、李熙健関西興銀・新韓銀行会長、羅志燦新韓銀行長ら千三百余人が出席し、民族公演など盛大に行われた。

主催者の梁載東濟州道観光協会会長は「市民たちの協力と多くの協賛者のおかげで第一回を成功させることができた。来年はその他を配慮し、三月下旬ぐらいに今年の倍の参加を目標に準備し、二〇〇〇年ごろには一万人を超える大会に持つていきたい」と挨拶した。

この大会には、本協会関係者も多数参加し、その一人梁斗京副会長も「来年は道民協会の組織を挙げて盛り上げたい」と語った。

## 濟州道出身の方はご入会下さい

同じ故郷を持つ者同士の仲間へあなたも参加して下さい。  
楽しい会話と楽しい催し物がいっぱいです。

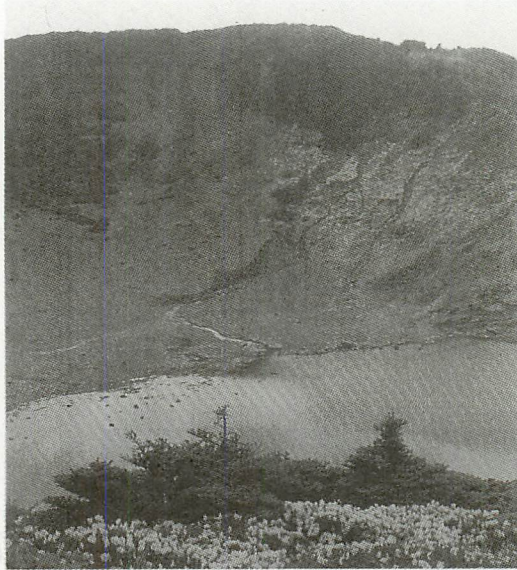
お問い合わせは事務局へ：〒537 大阪市東成区玉津1-4-22 関濟協ビル2F  
TEL 06-973-3700 (代)

# 古里賛歌

## 濟州十景

濟州島の名勝として、古くから濟州十景があげられている。それは、

- ① 城山日出 (城山面城山里)
- ② 紗峰落照 (濟州市吾羅里)
- ③ 瀛邱春花 (濟州市吾羅里)
- ④ 橘林秋色 (西歸邑西洪里)
- ⑤ 山浦釣魚 (濟州市山地浦)
- ⑥ 古藪牧馬 (表善面鹿山場)
- ⑦ 正房瀑布 (西歸邑西歸里)
- ⑧ 靈室奇岩 (漢拏山中腹)
- ⑨ 山房窟寺 (安德面沙溪里)



濟州十景の一つ「白鹿潭晩雪」

⑩ 鹿潭晩雪 (漢拏山山頂) である。

## 白鹿潭

濟州島といえば漢拏山、漢拏山といえど白鹿潭が連想される。漢拏山の最高峰は海拔二〇〇〇メートルもあつて、白頭山や金剛山と並ぶ屈指の霊峰である。山頂には白鹿潭(直径約六〇〇メートル)があり、その底には清い水をたたえて、附近は奇岩奇勝が連らなつて空に伸びている。

白鹿という名は、往古、群仙がここで白鹿という酒を飲んだという伝説にちなんでつけた名だといわれるが、定かでない。民謡には次のようにうたわれている。

漢拏山  
頂上の峰  
高く高い峰よ  
白鹿潭が  
そこにあるよ  
秋には  
柿栗が色づき  
漢拏山には  
鳥の声  
神仙の国だね

# 濟州道僑民室利用のご案内

在日濟州道民のために、民願処理業務等を担当する「僑民室」が濟州道庁内に設置され運営されております。各種民願処理業務等は下記の通りですが、本協会事務所でもそれらの処理業務を代行しておりますので、お気軽にご相談、あるいはお問い合わせください。なお、1994年度の業務は①濟州道愛郷墓地安葬4件②戸籍整理訂正15件で、その他、土地・家屋登記所有の相談や招請の相談がかなりの件数にのぼっております。

### 【濟州道庁僑民相談室 業務内容】

1. 愛郷墓地内 安葬事業一切斡旋
2. 一般地域内 安葬事業一切 (有碑)
3. 一般地域内 安葬事業一切 (無碑)
4. 移墓一切 墓地1基当
5. 墓石築
6. 碑石 (中南鳴石) 小型一切
7. 碑石 (中南鳴石) 中型一切
8. 碑石 (中南鳴石) 大型一切
9. 祖上墓伐草代行 墓所 大・中・小型 距離不問
10. 一般戸籍訂正

11. 戸籍謄本 (抄本)
12. 分家届
13. 出生届
14. 婚姻届・離婚届
15. 死亡届
16. 合同慰霊祭 (年1回)
17. 物件登録及び民事・刑事関係・司法書士・弁護士等 斡旋
18. 僑民投資 誘致

関西濟州道民協会

大阪市東成区玉津1-4-22

TEL 06-973-3700

FAX 06-973-6080

# 編集後記

済州四団体が統合しての関西済州道民協会が発足して一年半が経過いたしました。七月十五日付で、会報「関済協」の第二号を発刊できますことは何よりの喜びであります。

発刊に際しましては、苦しい時節柄ではありましたが、役員各位並びに友好諸団体に賛助広告をお願い致しました。ご協力に心より御礼申し上げます。

震災という大規模な地震に見舞われ、神戸は壊滅的な打撃を受け、本協会関係者も多数被害を受けました。

この未曾有の大災害に対して、「今まで助けてくれた僑胞を、今度は私たちが助けよう」と郷土済州道の全道民が立ち上がってくれ、義援金を募って、伝達して頂きました。その善意に改めて感謝申し上げます。

また、不幸中の幸いと申すのでしようか、義援金受付や被災地案内など阪神大震災関係の行事はスムーズ処理できました

が、これも四団体統合の最大の成果といえるのではないのでしょうか。

さて、今回は特別企画として会長団座談会「二一世紀へ向けての関済協」を企画致しました。本協会の運営にご尽力いただいております会長、副会長の皆さまの忌憚のないご意見が披露されております。これからの関済協のあり方におきまして、示唆に富む内容となっておりますので、ご一読下さい。

結論と致しましては、関済協ビルが心の拠り所になっていること、そして、次代を担う青年部の育成が緊急課題であることが提示されております。

ところで、金太智・駐日大使

と金世沢・駐大阪総領事が共に済州道出身者で、さらに民団大阪本部の洪性仁団長と洪正一議長も済州道出身者ということ

で、郷土出身者の活躍が大いに期待されますが、同時に、それは大きな責任を伴うということであります。齊家修身に心がけて、さらなる活躍を期待したいと思えます。

なお、本誌の発刊にあたりましては李永哲事務部長並びに制作を引き受けていただきました韓登氏の労苦にあらためて感謝申し上げます。

企画担当副会長 高昌照  
企画部長 金成洙



龍頭岩

表紙の写真は龍頭岩と呼ばれ、済州市龍潭洞の海中に突出している高さ4メートルほどの奇岩である。千数百年前までは活火山だった漢拏山から流れ出た溶岩が海中にまでおよび、押し寄せる黒潮に育まれて龍の姿のようになった。

この龍頭岩は、龍宮の兵士の屍体だという説話が言い伝えられている。むかし、病弱な海中の龍王は、薬を求めて四方八方探し回っていたが、ある日、勇敢な一人の臣下が、漢拏山から不老長寿の薬草をとってきて、龍王に飲ませたところ、薬効があつて、快方に向つた。龍王は大いに喜び、その臣下にたくさんの褒美を与え、その薬草をもっと取ってくるように命じた。

が、誰も取ってはならない薬草を、龍王の臣下が取って行ったのを知った漢拏山の山神たちは、再び薬草を取りに来た龍王の臣下に矢を放ち、命をとった。その龍王の臣下の屍が龍頭岩になったという。

関西済州道民協会 会報

関 済 協 第 2 号

1995年7月15日

発行所 関西済州道民協会  
会長 康 忠男

企画編集 関西済州道民協会 企画部

関西済州道民協会

大阪市東成区玉津

1-4-22

TEL 06-973-3700 (代)

FAX 06-973-6080